

第 26 号

広報委員会発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会

昭和46年度
卒業式を挙行

昭和四十六年度卒業式は三月二十五日（土）に行なわれ、四七四七名の新卒士が誕生する。今年度の卒業式は、関西大学が新制大学に移行してから二十四回目（に当たり、この日、新しく巣立って行く卒業生は法政大

新學士四七四七名誕生

大学院修士記授与式も

大学院修士課程修了者に対する 修士記号授与式は三月二十七日(月) に挙行される。本年度、修士の学 位を授与される者は法学二七名、 博士課程の単位修得者に対しては	文学二四名、経済学五名、商学一 二名、工学四九名で合計一七七名 である。また二十八日(火)に、 文学七名、経済学一名、商学一名、 工学一名で合計一二名である。
---	--

激動のなかの四年間

昭和四十四年度には、社会学学会の題で社会学部が一時閉鎖されたが、それ以後竣工、こうして前年度からひきつづき、学舎・施設の充実が目覚ましいものがあった。

昭和四十四年度には、六月に全北北北、第四学舎二号館研究棟、共闘系学生らが、関大会館を封鎖

卒業生の皆さんへ

學長 広瀬 捨三

卒業生の皆さんへ卒業おめでとう
存じます。四年間の学業の功成て、
いま学園を巣立られるに当って、そ
れぞれの感慨があふくことと思います。
皆さんの在学中は、日本の大学にとつて
か、どう評価されているか、今後大学
を離れて、正しく認識して貰えると思
います。イギリスの詩人ミルトンは中
年に、政治の争いに係わって過しまし
たが、彼が晩年に『失樂園』を書くこ
とを取らねばなりません。卒業式はいわ
ばイニシエーション（入会式）です。
社会の一員となる儀式です。古代の昔
者はこの時さまざまな試験を受けまし
た。レポートなどでパスで書けるという

諸君の「新生」に始る

初めて大きな学園の門前に登き込まれ、昨年よりはまた学費改訂の問題で、最後の学園生活を慌しく過されたことは、まさに同情に耐えません。しかし好むと好まざるとにかくわらず、われわれはかような情勢の下で、生活せざるをえないわけです。皆さんは多分教壇だけでは学びえない、いろいろな人格の動きを実地に体験した」とでじょうじ、全国の大学を動かし、いる学生運動というものを、広く社会全体から見て、という意味を持つのができましたのも、その豊富な実生活の経験が物をいっているのではないでしようか。皆さんが激動の青春などと思っておられても、案外それはコップの中の風であつたかもしれせん。私達教育者が思っているよりも、この頃の世間は、学生に対して、甘やかして置き、いふように思われます。それは取りも直さず、世間は皆さんを未だ成人間、すなわち子供だと思つてゐる事です。そこでなければ、法を犯しても何故寛大なのですか、器物を破壊しような、なま易しいものではありませんでした。そんなことは、すぐけつてその清濁の眞の価値が発現できる場所でもあります。どうか学園で身につけた、物の考え方、見方を活用して、実力を出して下さい。また卒業といふものの、それは学園の完成ではなく、これからその進む方向がやと判つてきたといふ事です。これから一生が勉強の連続です。この覚悟をするか、しないかが、皆さんの一生を決定

好調の就職状況

ドル・ショック

吹っ飛ばす

新卒生のほとんどは就職することになっているが、今年度は、とりわけ我が国の経済界の転換期に直面し、ドル・ショックによる不況下にも拘らず、相当落ち込むと思われた就職決定状況はすでに

うか。「習慣づけられた読書は、仕事や人生を真に豊かにするものであり、また、すべてにおいて学ぶ意欲のなくなった時老い込むものである」死ぬまで勉強、死ぬまで努力。(T・M)

府の学生が、これらの安価な物質文化の公害にむしばまれるとしたら、将来、肉面的な精神文化の水準は、一体どうなるのであろうか

▼今こそ良質な専門書・読書文化に接近する好機ではなからうか

語と外国語との学際方法が迫られていたのではなからうか。▼あ
るいは、それが、いわゆる安価な
活字文化・電波文化の公害とでも
いうべきものであったのであろう
か。世界の教育水準のトップクラ

て字の多いのに、うんざりさせられていたのが、今年はお陰で、それがほとんど無くなり、レポート試験も、とんだ効果をもたらすものだと感心させられたのは、私ひとりであろうか。どうやら、日本

からレポートへと切り替えられたことによって、学生諸君の語学力が急激にしかも、一様に向上したことも、まさに以って「おめでたい」ことである。▼例年、期末テストの評定において、誤字・あ

れる頃には、桜の蕾
もほころび、春風の
中で卒業式を迎えて
いることであろう。まずは「めで
たし」「めでたし」である。▼
「おめでたい」といえば、期末試

試験という大学の恒
例行事もなんとか無
事に終わり、あと
は、新卒生を送り
出せば春休みであ
る。この号の発行

好調な就職状況を示している背景には、就職課による求人開拓の努力、さらには関西大学の社会的評価の向上等が考えられよう。

きとになっている。年々増えてきている大企業・巨大企業への就職者数も六一・四％と増加傾向にある。なお三月末には大半が決定される見込みである。

二月末日現在で第一部八八・八％
第二部八〇・一％、（女子は第

脱サラ的サラリーマンになれ



リレー随想 東井 正美

新しい環境変化に対応できるか

るか

とは二〇〇の手
問、これらのこ
い科学的現状分析の上にたつて、未来の科学的検討、未来の構想に取り組む必要があるのではなからうか。去る一月一日、一病室で母が息を引きとったとき、かたわらで母の愛用していた古ぼけた腕時計が、絶え間なく時をききんでいたのが印象的であった。どのような未来へ、時をききこんでいるのであろうか

「働け、働け、同時に広い教養を」

ればいい。この二つは新聞社に在社申請先案から数えられた言葉であり、同時にその方向に厳しく訓戒されたのであった。しかし昭和三十一年一月のある日、朝日新聞の元専務取締役（当時朝日新聞学芸部部長）原田謙一先生が大新新聞学芸部の新聞発達を担当の講師を引き受けることにいわれたときには、おまじにも突然で心の動揺をかへすようにもできなかった。

すると、意思の分裂で実行が乱れるだらう。

剝削主義は別として原理の高次の組み替えが必要となる。基礎的な論理的思考の育成には、思索と読書に余裕のある学生時代が好適である。

二、他者志向型へ

マスコミの強い影響をもつに受け、前時代の立身出世の幻想に動かざらず、家や伝統はもちろん社

四三八
奈良住氏

一〇一七の自宅で逝去。十四日寺田地金館で葬儀が行なわれた。四十三歳。京都市出身。東京大学四十二年本科の教授にならう専攻は家族法。

型と個人主義型で混成され、考方・おもい方・感じ方が社会制度方に運用されていることに相作用は、一、守則意識の中へ自己

的開發途上三國は低い。管理者の権力主義については、日本は第1二位であり、甚だ権力的でない。仏伊が最小、最高は西独。北歐はみな高い。管理者の欲求については加工されたスプリートを基に、管理者としての安定、対人関係や協定安定、内外の管理力（社会内外の管理力）

	安定	社会	尊敬	自律	自己實現
日本	第 二	第 五	第 三	第 九	第 六
14 力国	第 四	第 七	第 六	第 五	第 三

「管理」について

三 についての日本と千四万平方平均のデータの集約法や解釈については疑問はあるが、最初の国際とほ次の様に、日本の充足度は高い。

較として考慮されるべきであ

なお其産園の管理に
いては、データは古い
、グラフィック著、菊池
藤井共訳「ソ連の経

で、一つのテーマを選んで、それを深く追跡するというものではない。むしろ、またそのような研究の

社会情勢の変容に注意し
主体性の確保を

新卒生がおくった大学生
活は、かつて大学が経歴した
ことのない激動の四年間でも
あった。大学の本質そのもの
が問われた大学紛争が全国的

な規模でおこり、本学もその
渦中につきまわっていた。
遅々たるとは言え、改革への
歩みを始めた時、学費問題が
おこり、大揺れに揺れた。し
かし、未来にむかって前進す
る努力を断固つづけねばなる
まい。そのために卒生生の
あらゆる意味での母校への支
援をお願いせねばならない。

別れにあたって、社会の荒
波にむかって船出する若き諸
君の洋々たる前途を祝し、心
から飲料！



▼編集後記▼



社会学部教授
藤間 常太郎



富山 忠三



松本暉男
教授（法学部）
三月十一日午